

一緒に走りたくなる

アバルトの持つポテンシャルを最大限に引き出し、運転する楽しさと所有する喜びをドライバーへと提供する TEZZO のアイテム。機能パーツは性能にこだわり、ドレスアップパーツはデザインにこだわった。機能とデザインの融合が一つの形となった。

文：橋本洋平 撮影：佐藤亮太
問い合わせ：TEZZO TEL：045-948-5538 HP：http://www.tezzo.jp/



TEZZO MTF

【I】 ツセエッセキットを組み込んだクルマや595トリプトフェラーリを凌駕すること……。TEZZOのチューンド500のコンセプトは、目標がとにかく高い。

ならばガチガチのレーシング仕様仕様に仕上がっているのかといえば、答えはノーだ。どこを見ても程よく大人の雰囲気だ。まとめられた感覚が強く、オシャレにセンス良く仕上がっている。特に目を引くのがテールまわりの特徴的なダックテールスポイラーとマフラー、そしてギリギリまで張り出したタイヤ&ホイールの仕上げ方だ。純正状態を決して改悪するのではなく、いずれも見事なフィッティングで違和感なく取り付けられていることに感心してしまう。いかにもなチューニングカーではなく、あくまでさりげなく、けれども純正を使い切っているところが興味深い。

ドライバーズシートに乗り込んでみても、その仕上げ方は同様。表皮を変更して握り心地を変化させたステアリングは、内装との色彩も見事にマッチング。メーターフードはエクセーヌが巻かれ、質感だけでなくフロントガラスへの映り込みにも配慮しているように窺える。500に詳しくない人が見れば、これがノーマル状態かと思うような仕上げだが、実は決定的な違いがあるマニアックな造り込みが感じられる。

こうした印象は走り始めても同じだった。格上のマシンを凌駕することを求めているならばガチガチな仕上がりの足なのかと思いきや、走り出せば路面からの入力は瞬時にソフトに収めてくれる。フロントは全長調整式のショックを採用し、リアは十分なストローク量と乗り心地を確保する為、新たに開発されたローダウンスプリングとノーマルショックの組み合わせとなっているこの足回りは、ロングツーリングでも疲れることのないような快適性が確実に備わっている。

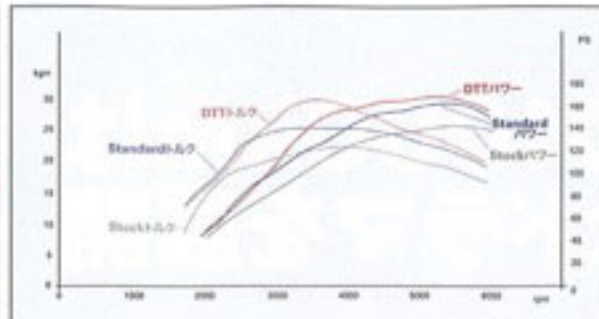


。けれども、前後バランスに優れ、ドライバーの意思だけで荷重コントロールが可能だから、どんな姿勢にでも自由自在なところがニクイ。ブレーキングでクルマの姿勢を整え、脱出時には機械式のLSDを利用してスロットルで曲がって行けるこの感覚は、エッセエッセとも595とも全く異なる面白い感覚がある。これなら、より丁寧なドライビングが磨かれることだろう。

さらには特徴的なフィニッシャーを備えるエキゾーストが乾いたサウンドを提供してくれるし、パワーだつてコンピュータが改められたことで、兄貴分たちと凌駕する力が宿っている。ガチンコ勝負となれば、かなりイイ対決が見られるような感覚は確実に伝わって来る。

このように、DTTとLSD等で過激な速さを身につけて、それでいて快適性も伴うのがTEZZOの特長だと感じられた。エッセエッセでもなく595でもない第三の路線をこのクルマは歩んでいる。

POWER TRAIN



ECUと安全性を重視し、トルクとレスポンスの向上を重視したセッティング。ノーマル比約27.5PSアップ。エアクリナーやアーシングなども装備。



オーバル形状のデュアルテールパイプは、純正ディフューザー形状に合わせて上下に配置するユニークなデザイン。新規制車検対応となっている。



INTERIOR

1_トータルでコーディネートされたインテリアは、スポーティかつクオリティの高さにこだわる。パレルンガ by TEZZOは、純正ステアリングの表皮とパターンを変更。2_さりげなく質感を高めるエクセーヌ素材を用いたメーターフード。3_レザーにペンダゴンステッチを施したシフトブーツ。4_機能性とデザインを両立したアルミペダル。



SUSPENSION



ストローク量を確保し、キビキビとした味付けと乗り心地の良さを両立させた。TEZZOこだわりの「トロピカル」セッティングである。

EXTERIOR



なだらかな500のリアビューを、ピリッと引き締めた印象へと演出するダックテール。目立ちすぎずさりげなく個性を主張する。

WHEEL & BRAKE



プロドライブ製17インチホイールとPOTENZA S001を装着。ブレーキは純正よりも効きを高め、ダストの発生も抑えたクリーンスポーツ。スポーツ走行用のパッドも。



カーボンアミラーカバーは、純正のパネルと交換するタイプ。切り足しやシワのない綺麗な表面を実現した一体成型の逸品だ。

足周りは乗り心地を犠牲にせずに、ワインディングでも楽しく走れる絶妙な仕上がり。十分なパワーを発揮しながら、扱いやすさもしっかり両立している。

ステンレスピラーキットは、見る角度によって雰囲気が変わるブラック鏡面仕上げ。小さなパーツながら、クルマ全体の質感をワンランク上げる。



TEZZO ABARTH500/595 PARTS LIST (税別)

- 【動力系】** ◆スポーツマフラー：185,000円 ◆カーボンエアインテークシステム ver.2：51,000円 ◆DTT ECU チューン (Digi-Tec by TEZZO)：176,000円 ※1 ◆スロットルコントローラー：50,000円 ◆WPC LSD 強化バージョン：171,000円 ◆TB アーシングシステム：19,000円 /26,800円 (リア移設用)
- 【シャシー系】** ◆全調式AJD-m t f：240,000円 ◆ローダウン&ライズアップ・サスキット Ver.2：45,000円 ◆オリジナルステンメッシュブレーキホースビニール被覆：38,000円 ◆Bre'c TEZZO BRAKE system <CLEAN SPORTS>：18,000円 (～) (F) /18,000円 (R) ◆BD System PAD -Breake force Distribution asystem：24,000円 (F) /24,000円 (R) ◆ホイールスペーサー for ABARTH500/595(競技用)：20,000円 (タイプA) /29,000円 (タイプB) *2 /25,600 (オプション) *4
- 【外装系】** ◆ダックテールスポイラー：48,000円 ◆リアルカーボンアミラーカバー (純正交換品)：45,000円 (下取り有) /49,000円 (下取り無) ◆ステンレスピラーキット：24,000円 /18,000円 (Bピラーのみ) ◆TB LED ポジションバルブ：13,800円 ◆TB LED ライセンスバルブ：10,800円 ◆バックカメラ for ABARTH500 series：29,000円
- 【内装】** ◆パレルンガ by TEZZO 本革巻きステアリングシリーズ：48,000円 ◆パレルンガ 本革シフトブーツ (MTのみ)：15,000円 ◆パレルンガ・メーターフード・エクセーヌ：24,000円 ◆ノンスリップアルミペダル：18,000円 (MT用) /16,000円 (AT用) ◆TEZZO Style フロアマット：17,800円 (チェック) /19,800円 (ダイヤ) /21,800円 (ウェーブ) /TEZZO Style トランクマット：10,000円 (チェック) /12,000円 (ダイヤ) /14,000円 (ウェーブ)

ご購入・問合せはアンテナショップ「TEZZO BASE」公式通販サイト「TEZZO STYLE」他、全国のアルファロメオディーラー・ショップまで

*1：別途インストール工賃：30,000円 *2：F：5mm・ハブセン無し R：10mm・ハブセン付き *3：F：10mm・ハブセン付き R：15mm・ハブセン付き *4：スタッドボルト&ナットセット MTF機能系パッケージ：1,111,600円～ / Vallelunga (パレルンガ) 内装パッケージ：132,800円～ / フルパッケージ：1,244,400円～